

2021 年度東大病院優秀指導医賞受賞者のご紹介

2022 年 3 月 16 日に東大病院優秀指導医賞表彰式が行われ、瀬戸病院長より表彰状が授与されました。

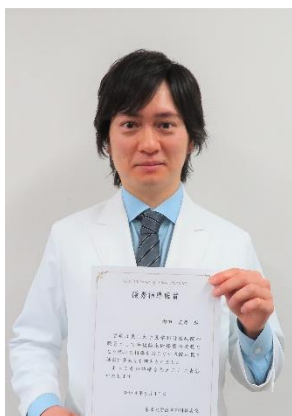
東大病院に課された重要な使命のひとつは、幅広い分野で優秀な医療人を輩出することであり、東大病院でこそ行うことのできる教育があると考えられています。

「優秀指導医賞」は病院内で、臨床研修医への教育・指導に大きな貢献を行った医師に対して、その労を称え表彰するものです。受賞された先生方のますますのご活躍をお祈りいたします。

優秀指導医賞受賞者 受賞コメント

受賞者から、受賞コメントを寄せていただきました。

呼吸器内科 内田 英彦 先生



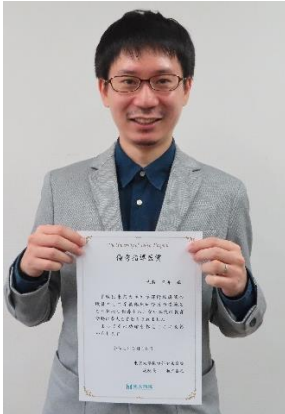
この度は名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。まだまだ自分も未熟でご指導頂く立場ではございますが、呼吸器内科をローテートした研修医の先生方の少しでもお役に立てたのであれば幸甚です。私自身も東大病院で初期研修をさせて頂き様々な事をご指導頂きましたが、研修医指導を通じて微力ながら恩返しができたことと安堵すると共に、引き続き自己研鑽を積んでいく所存でございます。進路は様々だと思いますが、東大病院で研修をされた全ての先生方の、今後のご活躍を心より祈念しております。

救急科 田上 俊輔 先生



この度はこのような素晴らしい賞を頂き大変恐縮です。本年度は集中治療室で研修医の先生と共に厳しい症例と向き合ってきました。指導しながら基本的なことが疎かになっていることに気づかされたり、研修医の先生のフレッシュな考え方を取り入れながら難しい局面を乗り越えることができ、感謝しております。今後も医療チームとして、各個人ができることを考え患者さんの為に尽力し、困難な局面に対応できるような環境作りに努めて参ります。

感染症内科 大藪 竜昇 先生



この度は栄誉ある賞をいただき、心より嬉しく思います。初めて大学病院のような教育機関で研修医の指導や教育に携わり、日々模索を続けていましたが、結果としてこのような評価をいただき光栄に思います。私自身、研修医の先生方から学びを得ることも多く、大変勉強になる一年でした。本当にありがとうございました。今回のことを励みにし、これからも自己研鑽を積んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

消化器内科 石田 宏太 先生



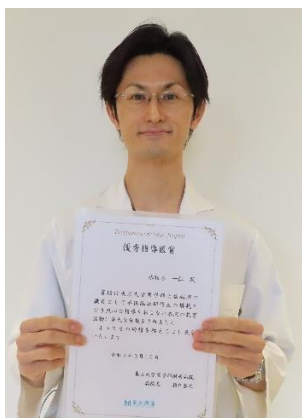
この度はこのような栄誉ある賞に選出いただき誠に光栄です。コロナ禍にあり様々な体験機会が失われている昨今で、それまで絶対的と思われていた価値観や優先順位がめまぐるしく変化したと日々実感します。柔軟な対応が求められる臨床現場においては殊更です。次代を担う先生方に対しては、魚を与えられて満足せず、魚の釣り方を思い知る学びを心掛けてほしいと常々思っております。時流に乗り遅れない医療と時代に迎合しない医学を双方実践することを切に願ひ、一緒に日々邁進していきましょう。

腎臓・内分泌内科 星野 良朋 先生



この度は優秀指導医賞をいただき大変嬉しく存じます。私が初期研修を終えてから5年間、研修医教育について色々工夫し考えてきたことをご評価いただいたのであれば幸いです。自分自身が初期研修医であった際に苦労した経験も踏まえて、研修医が知識をきちんと身につけつつも萎縮せず伸び伸びと働ける雰囲気作りを意識して参りました。この1年間で4人の研修医の先生方の学会発表デビューに指導医として携わらせていただくなど、指導を通して自身も一緒に成長することができ、すべての研修医の先生方に本当に感謝しております。今回の受賞を励みにして、今後も引き続き研鑽を積み研修医の先生方に還元できるよう努めて参ります。

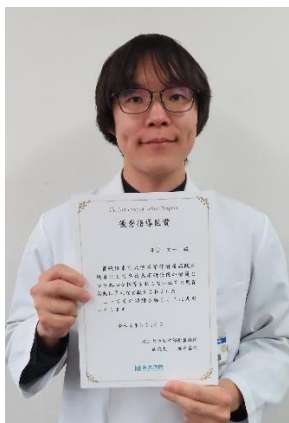
麻酔科・痛みセンター 水枝谷 一仁 先生



この度は優秀指導医賞にご選出いただき、誠にありがとうございます。
ございます。

現在私は、手術室とICU2での勤務に加え、手術室での看護師特定行為研修を担当させていただいており、多職種間の協力が診療を行う上で重要であることを改めて実感しております。研修医の先生方には、手術室という特殊な環境下で緊張感を持ちつつも楽しく麻酔を学んでいただき、多職種の方々と連携しながら診療を行うことの重要性も同時に学んでいただけるよう尽力していきたいと思っております。

精神神経科 日吉 史一 先生



この度は栄誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。2度目の受賞となり、大変光栄に感じております。今年度も、患者さんと真摯に向き合い成長していく研修医の先生方から、多くを学んだ一年でした。精神神経科では、多職種で協力し、ころをつかい、何を為すべきかを考え悩みながら、診療しています。当科の研修経験は、どの道に進まれても、きっと役立つものだと思います。ご興味のある先生はぜひ研修にお越しくください。今後も微力ながら、研修が実りあるものとなるよう努力して参ります。

救急科 山本 幸 先生



この度は身に余るご評価を頂き、大変光栄です。救急科は必修科目であり、毎年200名を超える研修医と診療を共にしております。ここ2年間はコロナ診療に追われ、正直に申しますと私個人としては研修医と接する時間が少なかったと感じていました。今回頂いたこの賞は、救える命も救えないほど逼迫した診療現場においても、目の前の患者に真摯に向き合い、熱心に研修医指導にあたった救急科専攻医・スタッフ皆で頂いたものだと思います。